

＜参考＞
財政収支計画及びその後の収支見通し

各事業の財政収支計画及びその後の収支見通しについては、次により算定しています。

- 1 料金改定、物価上昇及び給与改定は見込んでいません。
- 2 消費税及び地方消費税は8%で見込んでいます。

※経営計画策定時点における一定の条件のもとで、交通局独自の推計により算定しています。

※各計数は、表示単位未満を四捨五入し端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

高速電車事業(都営地下鉄)

＜長期収支見通しの概要＞

○設備・車両の更新や駅の大規模改良等により、減価償却費の増加が見込まれますが、乗車料収入の増加などにより、引き続き経常黒字となる見通しです。ただし、依然として多額の累積欠損金を抱える見通しです。

＜財政収支計画・見通し＞

(単位:億円)

科目	収支計画			収支見通し						
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
営業収益	1,552	1,561	1,570	1,583	1,588	1,598	1,599	1,604	1,601	1,605
営業外収益	179	145	145	140	139	136	134	170	167	162
収入計	1,731	1,707	1,715	1,723	1,727	1,733	1,733	1,774	1,768	1,768
営業費用	1,345	1,364	1,380	1,408	1,429	1,452	1,467	1,466	1,472	1,469
営業外費用	185	143	136	131	126	119	114	110	107	104
支出計	1,530	1,506	1,516	1,539	1,555	1,571	1,581	1,576	1,579	1,573
営業損益	207	198	190	175	159	146	133	139	130	137
経常損益	201	200	199	184	172	162	152	198	190	195
当年度末繰越損益	△3,134	△2,934	△2,735	△2,551	△2,379	△2,216	△2,064	△1,866	△1,677	△1,481
当年度末累積資金残	488	490	508	490	389	446	364	385	617	534

自動車事業(都営バス)

<長期収支見通しの概要>

○経常損益は当面赤字となりますが、乗車料収入の増加や経費の逓減などにより平成35年度以降黒字に転じる見通しです。ただし、累積欠損金を抱えるなど、引き続き厳しい経営状況が続く見通しです。

<財政収支計画・見通し>

(単位:億円)

科目	収支計画			収支見通し						
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
営業収益	416	420	434	443	446	446	446	447	446	446
営業外収益	18	18	18	21	26	27	26	23	21	19
収入計	433	438	452	463	472	473	471	470	467	465
営業費用	426	440	451	460	471	466	456	447	442	438
営業外費用	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18
支出計	443	457	469	479	489	484	474	465	461	456
営業損益	△10	△20	△17	△18	△25	△20	△10	0	3	8
経常損益	△9	△19	△17	△15	△18	△11	△2	6	6	9
当年度末繰越損益	△0	△20	△37	△52	△69	△80	△82	△77	△71	△62
当年度末累積資金残	92	77	76	93	80	92	114	137	155	166

軌道事業(都電荒川線)

<長期収支見通しの概要>

○経常損益は当面赤字となりますが、減価償却費の逓減などにより平成36年度以降黒字に転じる見通しです。ただし、累積欠損金を抱えるなど、引き続き厳しい経営状況が続く見通しです。

<財政収支計画・見通し>

(単位:億円)

科目	収支計画			収支見通し						
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
営業収益	31	32	32	32	33	32	33	33	33	33
営業外収益	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53
収入計	84	84	85	85	85	85	85	85	85	85
営業費用	35	35	35	34	34	33	33	33	32	32
営業外費用	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53
支出計	88	88	87	87	86	86	86	86	85	85
営業損益	△4	△4	△3	△2	△1	△1	△1	0	0	0
経常損益	△4	△4	△3	△2	△1	△1	△1	△0	0	0
当年度末繰越損益	△2	△5	△8	△10	△12	△12	△13	△13	△13	△13
当年度末累積資金残	14	16	18	20	23	23	26	28	16	6

新交通事業(日暮里・舎人ライナー)

<長期収支見通しの概要>

○経常損益は当面赤字となりますが、乗車料収入の増加や減価償却費の逡減などにより、平成34年度以降黒字に転じる見通しです。ただし、多額の累積欠損金を抱える中、老朽化した車両・設備の更新を控えるなど、引き続き厳しい経営状況が続く見通しです。

<財政収支計画・見通し>

(単位:億円)

科目	収支計画			収支見通し						
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
営業収益	56	57	59	60	60	60	60	60	60	59
営業外収益	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	58	58	59	61	61	61	60	60	60	60
営業費用	63	62	62	61	60	58	55	55	54	54
営業外費用	8	6	6	6	5	5	5	4	4	4
支出計	71	68	68	66	65	63	59	59	58	59
営業損益	△7	△5	△3	△0	1	2	5	5	6	5
経常損益	△13	△10	△9	△6	△4	△2	1	1	2	1
当年度末繰越損益	△151	△161	△170	△175	△179	△182	△180	△179	△177	△176
当年度末累積資金残	31	49	41	30	22	19	20	52	35	27

電気事業(発電)

<長期収支見通しの概要>

○施設の更新に伴い費用は増加するものの、引き続き経常黒字を確保できる見通しです。

<財政収支計画・見通し>

(単位:億円)

科目	収支計画			収支見通し						
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
営業収益	20	20	17	20	20	17	20	20	17	18
営業外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	20	20	18	20	20	18	20	20	18	18
営業費用	13	13	13	14	14	14	14	14	14	15
営業外費用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支出計	15	15	15	15	15	15	15	15	16	17
営業損益	6	6	4	6	6	3	5	6	3	3
経常損益	6	6	3	5	5	2	4	5	2	2
当年度末繰越損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度末累積資金残	36	38	36	35	42	33	37	41	30	27